

令和7年度 菁園地区の小中一貫教育 グランドデザイン

(菁園中学校・花園小学校)

小中共通の教育目標

「明日を創る力を育む」

小樽市の小中一貫教育（推進地区）5つの視点

1 小中一貫教育の目標を設定 2 教育課程・指導方法の工夫改善 3 小中学校間で交流する機会の設定 4 教職員間の連携・協働 5 家庭・地域との連携・協力

令和7年度 小中一貫教育の重点

「4つの力を身に付けさせる具体的な場の設定」

「16のSKILL」

「4つの力」
協働力

対応力

対話力

設計力

『つくる』 互いを尊重しながら力を合わせ、目標に向かって取り組む子ども

- S1: 多様な考えを組み合わせ、より良い考えをみつけようすることができる。
- S2: 他者との関わりから、新たな発見や目標を見つけることができる。
- S3: 授業や行事などで人と協力して活動できる。
- S4: 係や当番など自分や集団の役割に責任をもって取り組むことができる。

『うごく』 状況をとらえ、よりよい方向や解決を目指して行動する子ども

- S5: 人の話や説明を理解し、自分なりの考えをもつことができる。
- S6: うまくいかない理由を踏まえ、対応策を考えることができる。
- S7: 周りの状況を的確に判断し、自ら行動できる。
- S8: より良い方法を考え、実行することができる。

『つたえる』 自らの考えを発信し、建設的な話し合いを進める子ども

- S9: 人の話を正しい態度で聞くことができる。
- S10: 自分の考えや気持ちを相手にわかりやすく伝えることができる。
- S11: 自分と違う考えを受け入れることができる。
- S12: 他者との会話をもとに、新たな発見や目標を見つけることができる。

『みとおす』 ゴールを定め、見通して計画し、調整できる子ども

- S13: 計画的な家庭学習ができる。
- S14: 結果（ゴール）を見通すことができる。
- S15: 目標達成への過程を考えることができる。
- S16: 自分でより良い選択ができる。

教職員の「3つのACTION」

A1: 研究する～「徹底した授業改善と教材研究」

A2: 指導する～「生徒のそばで、教え、導き、気づかせる指導」

A3: 場をつくる～「生徒の経験値を高める場の設定」

小中一貫教育推進委員会

各校長、各教頭、主幹教諭、教務主任、各分掌部長

教育課程部会

(教務部・総務管理部担当)

【主な活動内容】

- ① 9年間の教育課程の編成
- ② 体験授業の実施
 - ・小5・6年の教科担任と連携
- ③ 「4つの力」の達成状況の分析
- ④ 年間行事予定の調整
 - ・総合的な学習の時間
 - ・旅行的行事の内容
 - ・新入生体験入学との連携
- ⑤ キャリアパスポート、学びの保障、ICTの活用
- ⑥ 効果的な事務管理の連携など

学力向上部会

(研究部担当)

【主な活動内容】

- ① 算数・数学科での連携
 - ・授業づくりやICTに関する研究
 - ・ノート指導の共通化
 - ・算数数学の9年間の教育課程(CAN-DOリスト)
- ② 全国学力・学習状況調査の分析
- ③ 保護者啓発の共通指導
 - ・家庭学習強化期間の実施
 - ・メディアの使用時間など
- ④ 公開研究会の相互参加
- ⑤ 児童生徒アンケートの共通項目
- ⑥ 作品・図書紹介の巡回展示 など

生徒指導部会

(生徒指導部担当)

【主な活動内容】

- ① 生徒指導の状況交流
 - ・学級、学年経営、家庭環境の交流
 - ・長期休業中のきまり
- ② 不登校児童生徒への支援の状況
 - ・欠席状況報告書の個人ファイル化
 - ・ICTを活用した支援など
- ③ いじめ未然防止の取組
- ④ 「ほっと」等の実施・分析
- ⑤ 児童会・生徒会の交流
 - ・潮ねりこみ・いじめ防止サミット・合同避難訓練 など